

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9223
担当部課名	都市部	市街地整備	再開発	班
事務事業名	アドバイザー派遣事業市街地整備課分		事業コード	34110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	広域交流都市を形成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	魅力ある広域交通拠点の整備	~63
施策名	第1施策	活気ある中心市街地の整備	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
現在淵野辺4丁目地区及び小田急相模原駅北口B地区で計画されている市街地再開発事業(優良建築物等整備事業)を促進するため、権利者等が行う事業に関する研究会等へ、専門的な見地から指導・助言を行うことを目的とし、アドバイザーを派遣するもの。		市内各地域のまちづくり組織	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
現在淵野辺4丁目地区及び小田急相模原駅北口B地区の再開発研究会等へ、アドバイザーを派遣した。 ・淵野辺4丁目 委託料：@3万円×21回=63万円 対象：研究会員8名 ・小田急相模原駅北口B地区 委託料：@3万円×21回=63万円 対象：研究会員23名			
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	アドバイザー派遣回数		
指標式	実際にアドバイザー派遣した回数 / 予算上の予定派遣回数		
指標設定の意図	事業を推進するために必要なアドバイザー派遣回数がどの程度達成できたかを確認する。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a	b	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	0	630	1,260	1,260	1,320
	人員・時間数		126時間	252時間	252時間	264時間
	人件費		526	1,053	1,053	1,103
	その他経費					
	合計	0	1,156	2,313	2,313	2,423
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	平成13年度においては、淵野辺4丁目地区の再開発研究会に対し、当初の計画どおりに勉強会を開催することが出来た。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	各地区における周辺環境を考慮した計画案が提示されており、将来展望が望めるものとなっている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	専門的知識及び経験を持つコンサルタント業者への委託であるが、謝礼としての支払いであるため、通常のコンサルタント委託よりも安価である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	本事業はまちづくりの観点から、地権者の合意形成を図ることが必要であるため、市が実施することが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	アドバイザーの講義は、必ずしも対象者全員が望む内容であるとはいえない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	本事業により知り得た知識は、今後進めていく優良建築物等整備事業を行っていく上で役立てられることが期待できる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 現在行っている講義回数が適当である。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 成果向上を図る上で、講義回数等の削減は望ましくない。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	本事業は平成12年度から行っており、淵野辺地区、小田急相模原地区ともに駅周辺整備が計画、実施されており、周辺のまちづくりをより良い方向に導くため、市が主導となり地権者等の合意形成を図る意味をもっている。今後はより現実に即した事業計画案等の提示等を行い、優良建築物等整備事業を推進することがよりよいまちづくりにつながることを期待できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--